

平成 27 年 度

岡山市病院事業会計決算審査意見書

岡山市監査委員

岡 監 第 1 1 2 号
平成 2 8 年 7 月 2 9 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

岡山市監査委員	白 神 利 行
同	種 田 和 英
同	鷹 取 清 彦
同	松 田 安 義

平成 27 年度岡山市病院事業会計決算審査意見について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により審査に付された平成 27 年度岡山市病院事業会計決算及び各証書類その他関係書類を審査した結果、別紙のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審 査 の 対 象	1
第 2	審 査 の 期 間	1
第 3	審 査 の 方 法	1
第 4	審 査 の 結 果	1
1	業 務 の 概 要	2
2	予 算 の 執 行 状 況	2
3	経 営 成 績	4
4	財 政 状 態	7
5	む す び	10
	資 料	11

- (注) 1 文中の金額は、原則として万円単位で表示し、端数は切り捨てた。このため計数が一致しない場合がある。
- 2 文中の比率及び各表中の数値は、原則として表示の1桁下位で四捨五入した。このため計数が一致しない場合がある。
- 3 文中に用いるポイントとは、パーセンテージ間又は指数間の単純差引数値である。
- 4 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
- 「0.0」・・・該当数値はあるが、単位未満のもの
- 「－」・・・算出不能、該当数値のないもの

第 1 審査の対象

平成 27 年度岡山市病院事業会計決算

第 2 審査の期間

平成 28 年 6 月 14 日から

平成 28 年 7 月 29 日まで

第 3 審査の方法

審査に当たっては、市長から審査に付された平成 27 年度岡山市病院事業会計決算並びに証書類、事業報告書及び政令で定めるその他の書類が関係法令に準拠して作成されているか、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかについて審査するとともに、関係者からの説明を聴取し、会計帳票等証書類との照合及び経営内容の動向を把握するため計数の分析を行い、年次比較等の検討を加えた。

第 4 審査の結果

決算並びに事業報告書及び政令で定めるその他の書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、会計帳票等証書類と照合審査の結果、計数は正確であり、かつ、本年度の経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認めた。

なお、決算概要及び審査意見は、次のとおりである。

1 業務の概要

岡山市病院事業会計は、国立病院機構岡山市立金川病院の建物等の減価償却の費用計上、建物の維持管理に伴う経費負担や経年劣化に伴う修繕の実施、企業債の元利償還及び決算処理を行う目的で設置されたものである。

国立病院機構岡山市立金川病院は、平成 24 年度から指定管理者制度を導入し、独立行政法人国立病院機構が管理運営を行っている。

同病院は、内科、外科、眼科、皮膚科、リハビリテーション科の 5 科、病床数 30 床の体制で、救急告示病院にも指定されている。

(1) 業務実績

国立病院機構岡山市立金川病院は、利用料金制による指定管理者制度により独立行政法人国立病院機構が運営を行っているため、岡山市病院事業としての業務実績はない。

(2) 建設改良事業

本年度の建設改良事業はない。

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の予算執行状況は、次表のとおりである。(資料第 1-1 参照)

収益的収入及び支出の予算執行状況

区 分	予算額 A	決算額 B	執行率 B/A	予算額に比し 増、減(△) 又は不用額
	円	円	%	円
収益的収入	13,969,000	11,761,083	84.2	△ 2,207,917
収益的支出	52,051,000	49,852,541	95.8	2,198,459

(注) 決算額のうち、収益的収入における仮受消費税及び地方消費税は 0 円、収益的支出における仮払消費税及び地方消費税は 3,243 円である。

収益的収入決算額 1,176 万円は、予算額 1,396 万円に対し 84.2%の執行率、収益的支出決算額 4,985 万円は、予算額 5,205 万円に対し 95.8%の執行率となっている。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の予算執行状況は、次表のとおりである。(資料第 1-2 参照)

資本的収入及び支出の予算執行状況

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	執 行 率 B/A	予算額に比し 増, 減 (△) 又は不用額
	円	円	%	円
資本的収入	3,595,000	594,522	16.5	△ 3,000,478
資本的支出	3,595,000	594,522	16.5	3,000,478

(注) 決算額のうち、資本的収入における仮受消費税及び地方消費税並びに資本的支出における仮払消費税及び地方消費税は 0 円である。

資本的収入決算額 59 万円は、予算額 359 万円に対し 16.5%の執行率、また、資本的支出決算額 59 万円は、予算額 359 万円に対し 16.5%の執行率となっている。

3 経営成績

(1) 総合成績

総合成績（総収益）は、次表のとおりである。（資料第2，第4参照）

総合成績

年度	総収益		総費用		損益（△損失） A - B	当年度未処分 利益剰余金 （△累積欠損金）	総収支 比率 A / B
	金額 A	前年度比 指数	金額 B	前年度比 指数			
	円	%	円	%	円	円	%
24	11,396,785	— 100	51,581,913	— 100	△ 40,185,128	△ 45,523,621	22.1
25	11,930,292	104.7 104.7	51,941,220	100.7 100.7	△ 40,010,928	△ 85,534,549	23.0
26	11,574,217	97.0 101.6	50,405,865	97.0 97.7	△ 38,831,648	△ 124,366,197	23.0
27	11,761,083	101.6 103.2	49,852,541	98.9 96.6	△ 38,091,458	△ 162,457,655	23.6

(注)・旧金川病院の精算処理に伴い、平成24年度は前年度繰越欠損金5,338,493円を計上している。
・指数は平成24年度を100として算出。

総収益は1,176万円、総費用は4,985万円となっている。その結果、総収支比率は23.6%を示し、3,809万円の純損失を生じ、累積欠損金は1億6,245万円となっている。

(2) 経常収益

経常収益は1,176万円で、前年度に比べ1.6%の増収であり、科目別内訳は、次表のとおりである。（資料第2参照）

経常収益

科目	27年度		26年度		増,減(△) C (A - B)	C / B
	金額 A	構成比	金額 B	構成比		
	円	%	円	%	円	%
医業収益	65,895	0.6	139,980	1.2	△ 74,085	△ 52.9
その他医業収益	65,895	0.6	139,980	1.2	△ 74,085	△ 52.9
医業外収益	11,695,188	99.4	11,434,237	98.8	260,951	2.3
受取利息及び配当金	68	0.0	250	0.0	△ 182	△ 72.8
負担金交付金	11,100,598	94.4	11,105,993	96.0	△ 5,395	△ 0.0
長期前受金戻入	594,522	5.1	327,994	2.8	266,528	81.3
合計	11,761,083	100	11,574,217	100	186,866	1.6

経常収益は前年度に比べ18万円（1.6％）の増収となっている。これは医業収益は7万円（52.9％）減少したが、医業外収益が26万円（2.3％）増加したためである。

主な科目の増減状況は、次のとおりである。

ア その他医業収益

その他医業収益は6万円で、前年度に比べ7万円（52.9％）の減収となっている。

イ 一般会計負担金

一般会計負担金の状況は、次のとおりである。（資料第4参照）

医業収益に含まれる一般会計負担金は6万円で、これは金川病院管理負担金である。

医業外収益に含まれる一般会計負担金は1,110万円で、これは企業債利息償還額に対する負担金で、前年度に比べ微減となっている。

また、病院事業資本的収入に含まれる一般会計負担金は59万円で、これは企業債元金償還額に対する負担金で、前年度に比べ17万円（40.8％）の増加となっている。

(3) 経常費用

経常費用は4,985万円で、前年度に比べ1.1％の減費であり、科目別内訳は、次表のとおりである。（資料第2参照）

経 常 費 用

科 目	27 年 度		26 年 度		増,減 (△) C (A-B)	C / B
	金 額 A	構成比	金 額 B	構成比		
	円	%	円	%	円	%
医 業 費 用	34,935,241	70.1	35,477,426	70.4	△ 542,185	△ 1.5
経 費	62,652	0.1	131,175	0.3	△ 68,523	△ 52.2
減 価 償 却 費	34,872,589	70.0	35,346,251	70.1	△ 473,662	△ 1.3
医 業 外 費 用	14,917,300	29.9	14,928,439	29.6	△ 11,139	△ 0.1
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	11,100,666	22.3	11,106,243	22.0	△ 5,577	△ 0.1
長 期 前 払 消 費 税 償 却	3,813,391	7.6	3,813,391	7.6	0	0
雑 支 出	3,243	0.0	8,805	0.0	△ 5,562	△ 63.2
合 計	49,852,541	100	50,405,865	100	△ 553,324	△ 1.1

経常費用は前年度に比べ55万円（1.1％）の減費となっている。これは主に、医業費用が54万円（1.5％）減少したためである。

主な科目の増減状況は、次のとおりである。

ア 経費

経費は6万円で、前年度に比べ6万円（52.2％）の減費となっている。

イ 減価償却費

減価償却費は 3,487 万円で、前年度に比べ 47 万円（1.3%）の減費となっている。

ウ 医業外費用

医業外費用は 1,491 万円で、前年度に比べ 1 万円（0.1%）の減費となっている。

(4) 経営成績

ア 医業収支

指定管理者制度を利用しているため、本来の医業に対するものはないが、減価償却費が発生することや、経費に対する負担金収入があるため、医業収支が発生している。

医業損益は、医業収益が 6 万円、医業費用が 3,493 万円で、差し引き 3,486 万円の損失となっている。（資料第 2 参照）

イ 経常収支

経常的な損益を示す経常損益は、経常収益が 1,176 万円、経常費用が 4,985 万円で差し引き 3,809 万円の損失となっている。（資料第 2 参照）

また、経常収益と経常費用を対比し、経常的な収益と費用の関連を示す経常収支比率は、23.6%で前年度から 0.6 ポイント向上している。（資料第 5 参照）

以上の経営成績をまとめると、次表のとおりである。

経営成績の分析

区 分	27 年度	26 年度	前年度比
	円	円	%
医 業 収 益 (A)	65,895	139,980	47.1
医 業 費 用 (B)	34,935,241	35,477,426	98.5
医 業 損 益 (A - B)	△ 34,869,346	△ 35,337,446	98.7
医 業 外 収 益 (C)	11,695,188	11,434,237	102.3
医 業 外 費 用 (D)	14,917,300	14,928,439	99.9
経 常 収 益 (E = A + C)	11,761,083	11,574,217	101.6
経 常 費 用 (F = B + D)	49,852,541	50,405,865	98.9
経 常 損 益 (E - F)	△ 38,091,458	△ 38,831,648	98.1
経 常 収 支 比 率 (E / F)	23.6%	23.0%	

4 財政状態

(1) 資産

資産の総額は8億9,088万円で、前年度末に比べ3,868万円(4.2%)減少している。
(資料第3参照)

ア 固定資産

固定資産は8億9,058万円で、前年度末に比べ3,868万円(4.2%)減少している。このうち、建物は6億1,774万円で、減価償却により2,779万円(4.3%)減少している。構築物は5,040万円で、減価償却により708万円(12.3%)減少している。器械備品は139万円で、前年度末と同額である。

イ 流動資産

流動資産は30万円で、前年度末と同額である。

(2) 負債

負債の総額は6億3,342万円である。(資料第3参照)

ア 固定負債

固定負債は6億2,743万円である。

なお、企業債残高の状況は、次表のとおりである。

企業債残高

年度	前年度末残高 A	増加高 (借入額)	減少高 (償還額)	増, 減(△) 差引残高 B	増減率 B/A	年度末残高
	円	円	円	円	%	円
24	636,605,870	0	2,261,410	△ 2,261,410	△ 0.4	634,344,460
25	634,344,460	0	422,216	△ 422,216	△ 0.1	633,922,244
26	633,922,244	0	422,244	△ 422,244	△ 0.1	633,500,000
27	633,500,000	0	594,522	△ 594,522	△ 0.1	632,905,478

イ 流動負債

流動負債は576万円で、前年度末に比べ、487万円(544.6%)増加している。

ウ 繰延収益

繰延収益は22万円で前年度と同額である。

(3) 資本

資本の総額は2億5,745万円である。(資料第3参照)

ア 資本金

資本金は4億1,989万円である。

イ 剰余金

剰余金はマイナス 1 億 6,243 万円で、前年度末に比べ 3,809 万円（30.6%）マイナス額が増加している。

累積欠損金（当年度未処理欠損金）は 1 億 6,245 万円で、前年度末に比べ 3,809 万円（30.6%）増加している。

(4) 財務比率

財務比率の状況は、次表のとおりである。（資料第 5 参照）

財 務 比 率

（単位：％）

分 析 項 目	27 年 度	26 年 度	算 式
流 動 比 率 (望ましい比率 200%以上)	5.2	33.5	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
当 座 比 率 (望ましい比率 100%以上)	5.2	33.5	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$
固定資産対長期資本比率 (望ましい比率 100%以下)	100.6	100.1	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$

ア 流動比率

流動比率は、前年度末に比べ 28.3 ポイント低下し、5.2%となっている。

イ 当座比率

当座比率は、前年度末と比べ 28.3 ポイント低下し、5.2%となっている。

ウ 固定資産対長期資本比率

固定資産対長期資本比率は、前年度末に比べ 0.5 ポイント低下し 100.6%となっている。これは、剰余金のマイナス額が増加したためである。

(5) キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フロー計算書は、一会計期間における資金の増加又は減少の状況を表したものである。

キャッシュ・フロー計算書

区 分	27年度 A	26年度 B	増減(△) C(A-B)
I 業務活動によるキャッシュ・フロー			
	円	円	円
当年度純利益	△ 38,091,458	△ 38,831,648	740,190
減価償却費	34,872,589	35,346,251	△ 473,662
長期前払消費税償却	3,813,391	3,813,391	0
長期前受金戻入額	△ 594,522	△ 327,994	△ 266,528
受取利息及び配当金	△ 68	△ 250	△ 182
支払利息及び企業債取扱諸費	11,100,666	11,106,243	△ 5,577
小 計	11,100,598	11,105,993	△ 5,359
受取利息及び配当金	68	250	△ 182
支払利息及び企業債取扱諸費	△ 11,100,666	△ 11,106,243	5,577
業務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
一般会計からの繰入金による収入	594,522	422,244	172,278
投資活動によるキャッシュ・フロー	594,522	422,244	172,278
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための 企業債の償還による支出	△ 594,522	△ 422,244	△ 172,278
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 594,522	△ 422,244	△ 172,278
IV 資金増加額(または減少額)	0	0	0
V 資金期首残高	300,000	300,000	0
VI 資金期末残高	300,000	300,000	0

業務活動によるキャッシュ・フローにおいては、資金の増減はない。投資活動によるキャッシュ・フローにおいては、一般会計負担金の収入により59万円の資金が増加している。一方、財務活動におけるキャッシュ・フローにおいて、企業債の償還により59万円の資金が減少している。

この結果、資金の増減はなく、資金期末残高は期首残高と同額の30万円となっている。

6 む す び

本事業については、国立病院機構岡山市立金川病院の建物の維持管理に伴う経費や、企業債の元利償還金等の支出及びそれらに対応した負担金収入などの経理並びに建物等の減価償却費の費用計上などの会計処理を行っている。

本年度の経営成績についてみると、総収益 1,176 万円、総費用 4,985 万円で、3,809 万円の純損失を生じ、累積欠損金は前年度末の 1 億 2,436 万円から 1 億 6,245 万円へと増加しているが、主な要因は、減価償却費によるものである。

独立行政法人国立病院機構岡山市立金川病院は、内科、外科、眼科、皮膚科、リハビリテーション科の 5 科、病床数 30 床の体制で、救急告示病院にも指定されており、地域医療を担っている。

独立行政法人国立病院機構岡山市立金川病院の運営にとって、岡山市病院事業会計の健全な管理運営は不可欠なものであり、今後とも、指定管理者である国立病院機構との連携を密にし、引き続き地域医療に貢献されるよう要望する。